参　考　手　本

人生（じんせい）　有道（ゆうどう）に歸（き）するも

高木聖雨先生

※これは規定課題ではありません。

参　考　手　本

人生（じんせい）　有道（ゆうどう）に歸（き）するも

高木聖雨先生

※これは規定課題ではありません。

条幅規定

A部（準五段以上）
B部（四段～準三段）

道因法師碑（唐・欧陽　通）　辛巳朔十日庚寅建華原縣常長壽范素鏐（17字最終）

C部（二段以下）

集字聖教序（東晋・王羲之）　耨達水通神甸之八川耆闍崛山接嵩華之

条幅かな

浮乗清郷先生

なべてよはさびしきものぞくさまくらたびにありともなにかなげかむ（会津八一）　奈遍盤斜日所草枕旅耳利母奈尓可難遣可無

※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左側下部に添え書きして下さい。

条幅のバーコード出品券にはＡ・Ｂ・Ｃでは無く段・級を記入して下さい

（６月10日締切）

半紙規定 (一)

曹全碑（漢・作者不詳）

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

部陽令（こうようれい）を拝し、余燼（よいん）を収合し、

半紙規定 (二)

九成宮醴泉銘（唐・欧陽詢）

※清書の提出は〔初段以上〕楷書か隷書　〔一級以下〕楷書

雨に沐（もく）し、百姓を心と為し

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

（6月10日締切）

条幅参考手本

去國三巴遠　登樓萬里春　傷心江上客　不是故郷人

國を去って三巴遠し　樓に登る萬里の春　心を傷ましむ江上の客　是れ故郷の人にあらず

石田輝仙先生

潮水還歸海　流人却到吳　相逢問愁苦　淚盡日南珠

潮水還りて海に帰り　流人却って呉に到る　相い逢いて愁苦を問えば　涙は尽く日南の珠

長沢豊雲先生

条幅参考手本

主幹菅野翠濤

歳月人間促　煙霞此地多　殷勤竹林寺　更得幾回過

歳月人間促り　烟霞此の地多し　殷勤にす竹林寺　更に幾回か過るを得ん

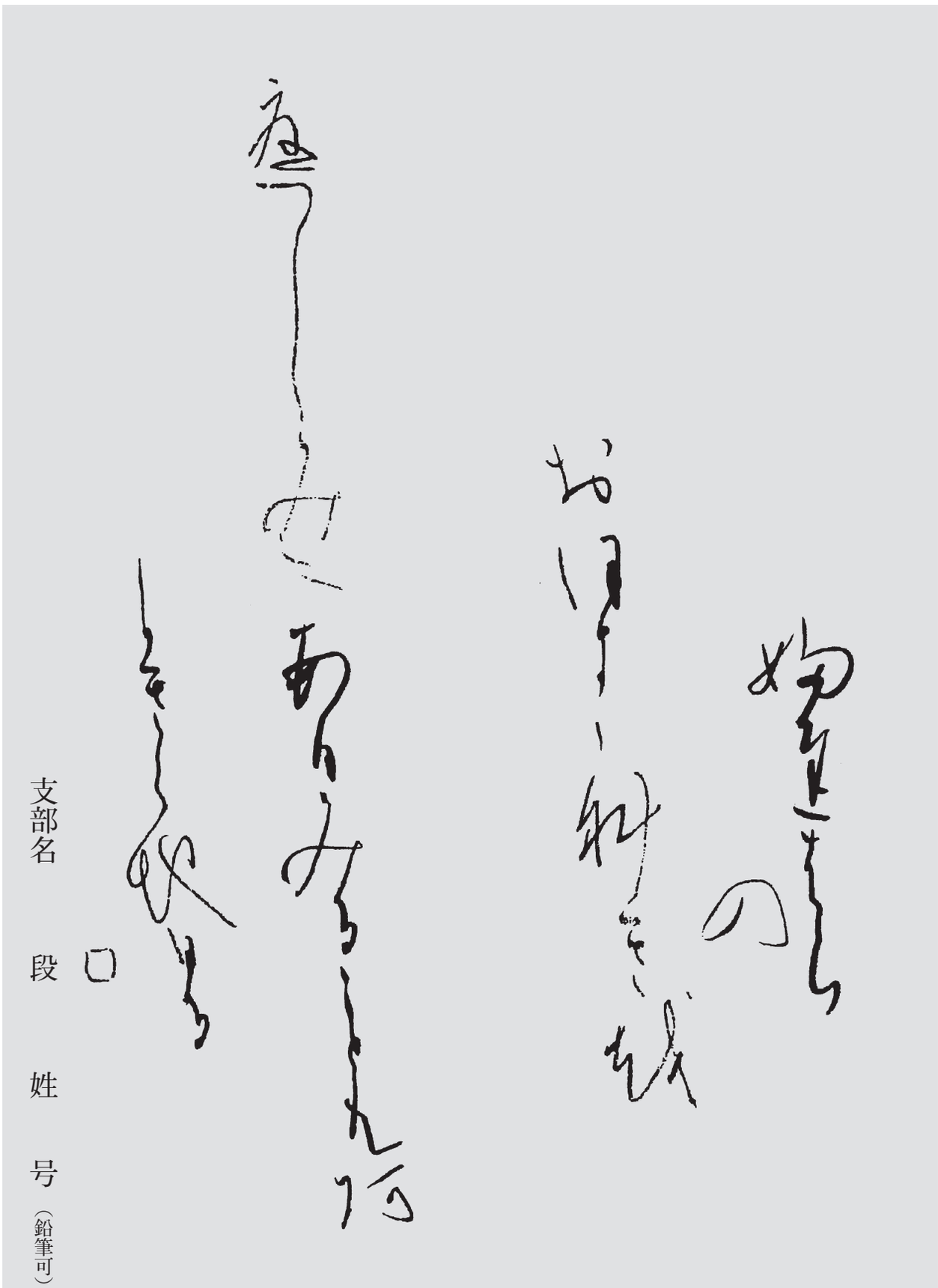
稲餅幽翠先生

端溪の細かき石の肌に觸れて匂ひをあぐる春の夜の墨（尾上柴舟）

半紙かな（初段以上）

ふぢはらのおほききさきをうつしみにあひみるごとくあかきくちびる（会津八一）

婦遅者　保支、斜　越憂　二日　九阿可　地日



支部名　段　姓　号（鉛筆可）

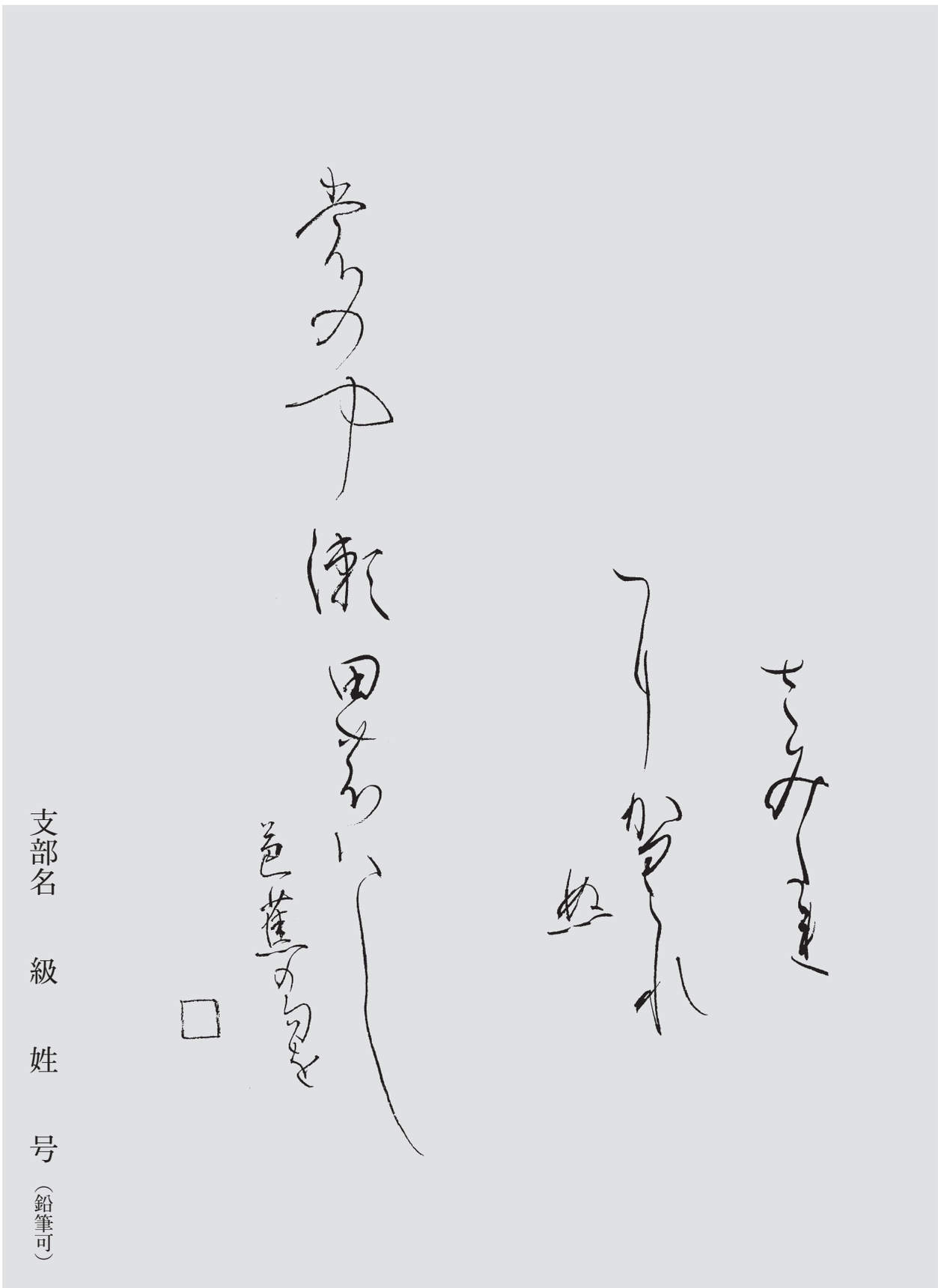
※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
※ちらし文字変換は自由

浮乗清郷先生

（6月10日締切）

半紙かな（１級～８級）

五月雨（さみだれ）にかくれぬものや瀬田の橋（多連耳具怒裳也農八し）（松尾芭蕉）



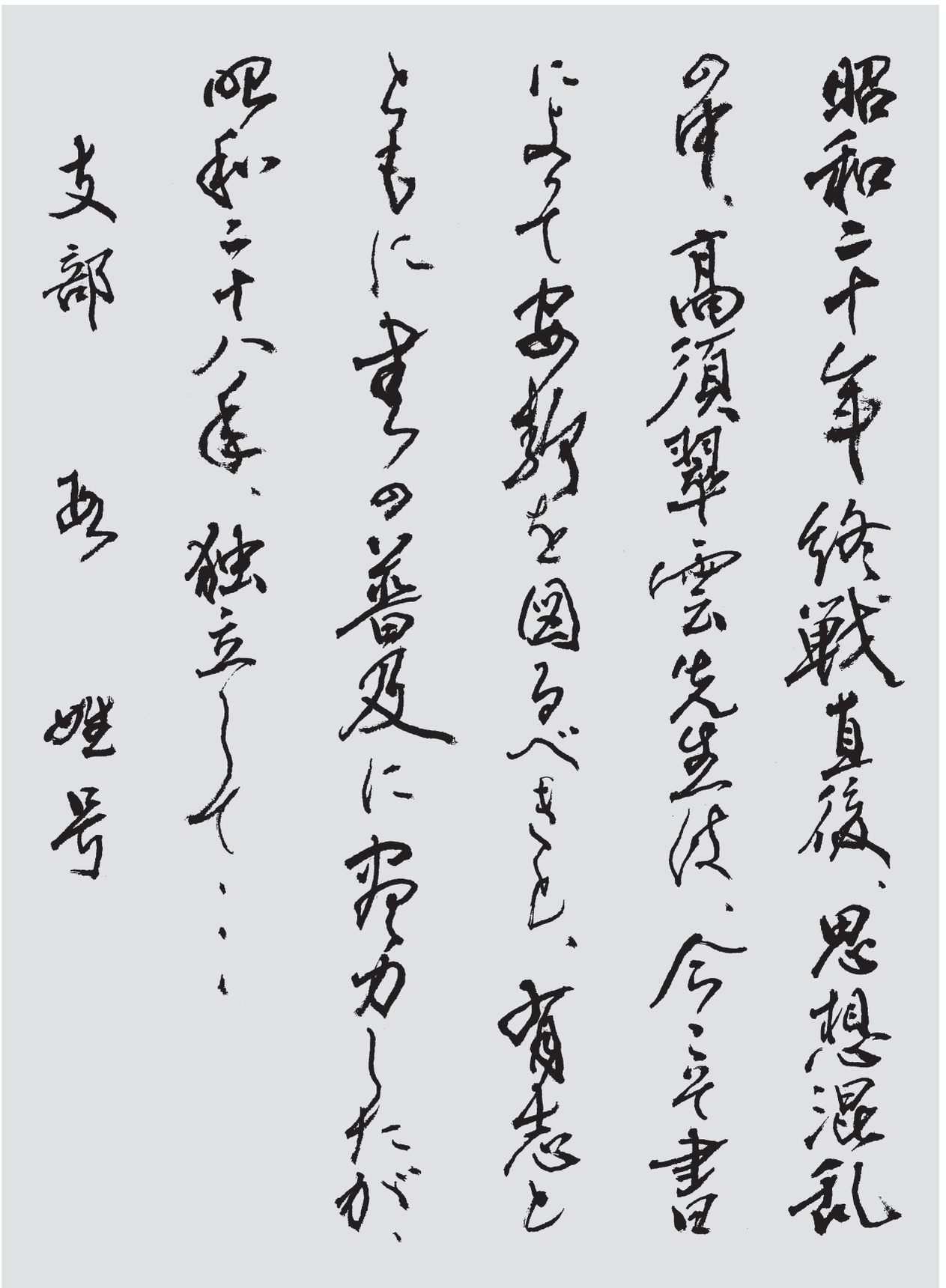
支部名　級　姓　号（鉛筆可）

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
※ちらし文字変換は自由

小林智峰先生

（６月10日締切）

実用文（準三段以上）



朝平霞山先生

〈書風任意〉昭和二十年終戦直後、思想混乱の中、高須翠雲先生は、「今こそ書によって安静を図るべき」と、有志とともに書の普及に尽力したが、昭和二十八年、独立して…（第五十回北日本書芸院展作品集より）

（6月10日締切）

実用文（二段以下）

〈書風任意〉

筆の起源は遠く紀元前千～二千
年頃で、当初は石、鉄などを錐の
ようにして、岩壁や獣骨等に
彫りつけていました。

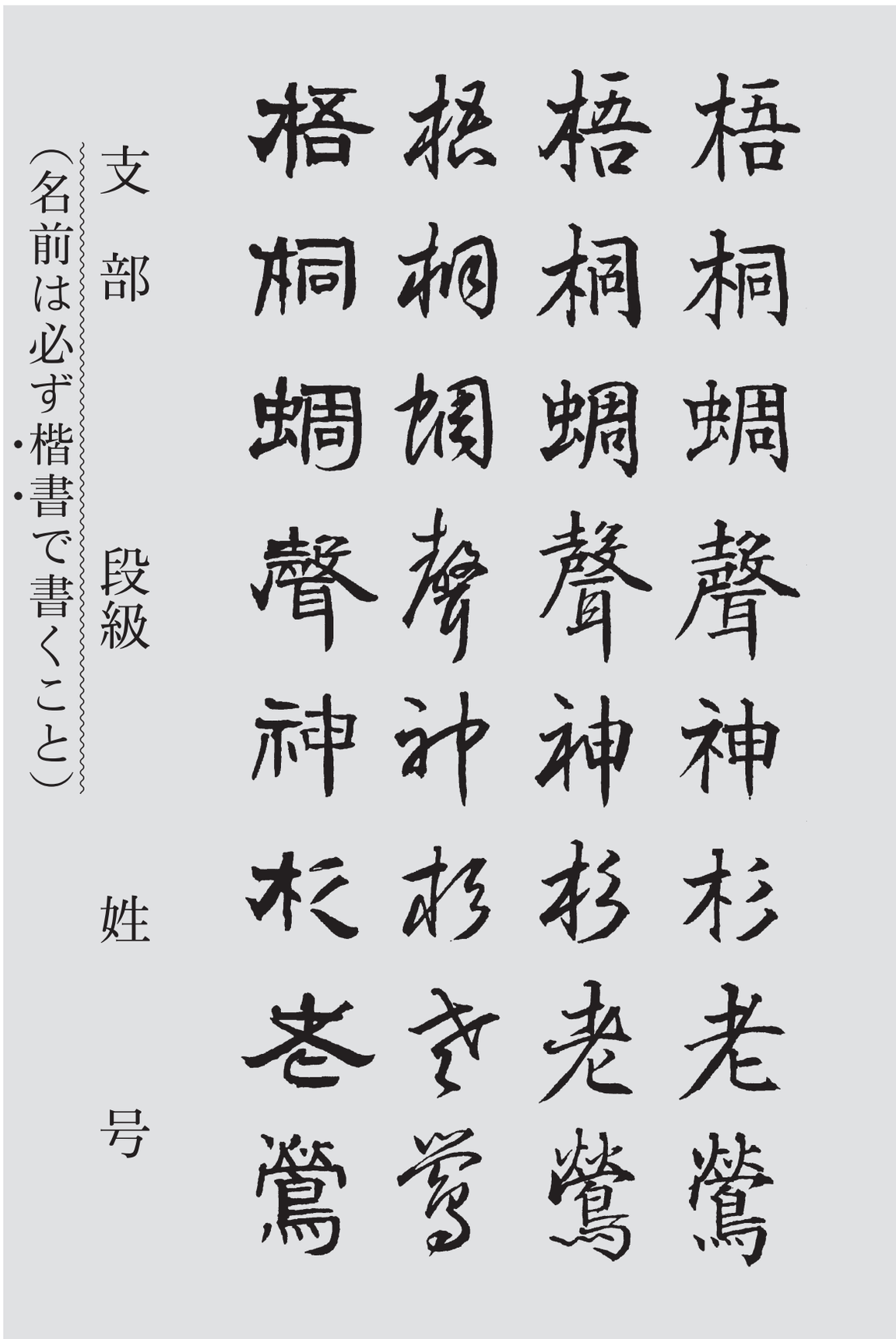
支部名　段級　姓　号

稲　餅　幽　翠　先　生

（6月10日締切）

細　　字

高須翠雲書「五體昭和千字文」より
P51



支部　　段級　　姓　　号

（名前は必ず楷書で書くこと）

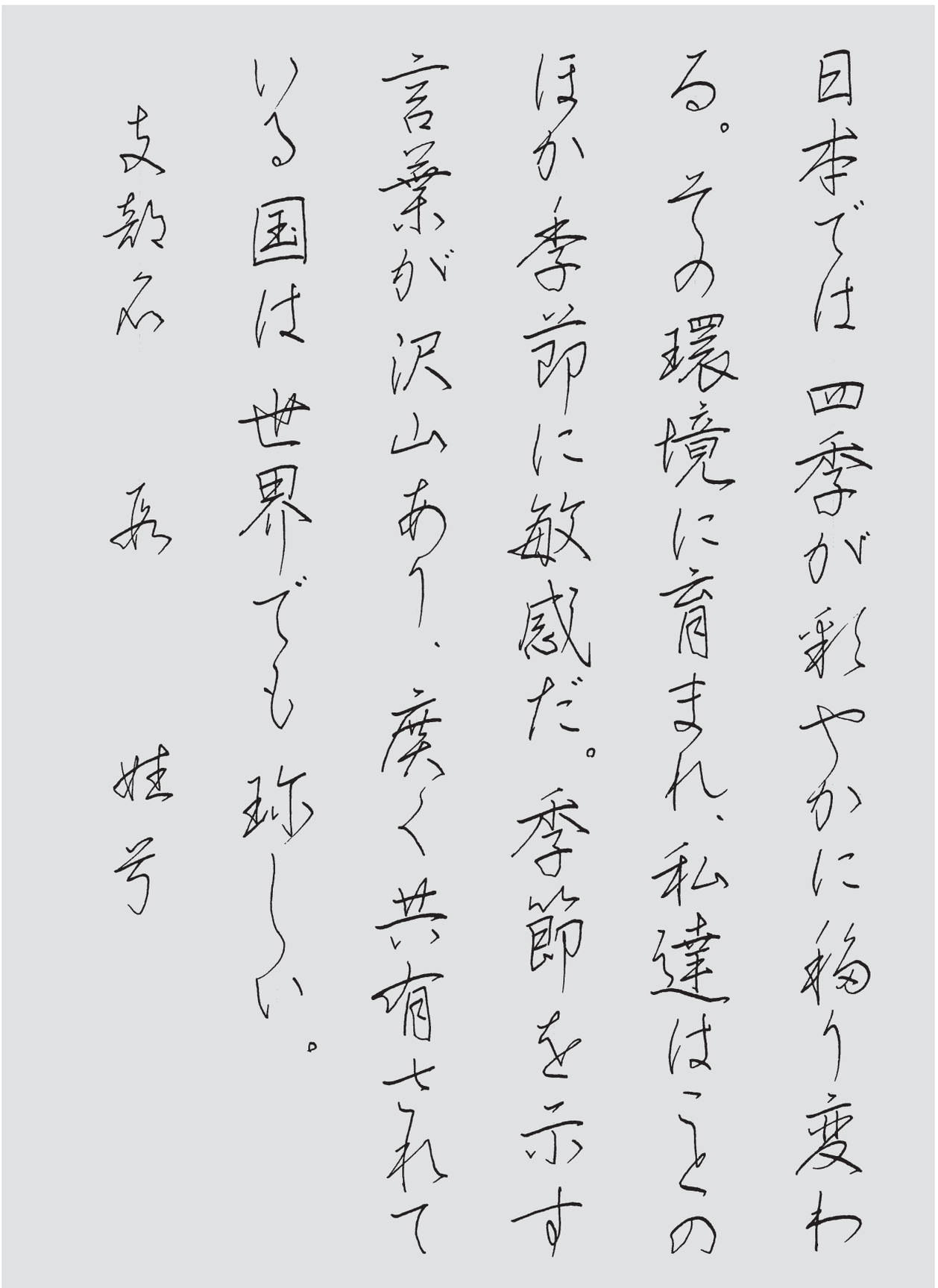
※一級～八級は草書まで。　初段以上は隷書まで。　※楷書以外では違反になります。

梧（ご）桐（どう）　青銅。
蜩声（ちょうせい）　ひぐらしの声。
老鶯（ろうおう）　夏のうぐいす。

17cm（よこ）×24cm（たて）

（6月10日締切）

硬筆（初段以上）



日本では四季が彩やかに移り変わる。その環境に育まれ、私達はことのほか季節に敏感だ。季節を示す言葉が沢山あり、廣く共有されている国は世界でも珍しい。

青柳江雲先生

（6月10日締切）

硬筆（１級～３級）

美術や工芸は五感に訴えるものだ。
そして感覚を刺激してくれる。

支部名　級　姓
号

若月久美子　先生

硬筆（４級以下）

本院定型用紙・たて半分に書く

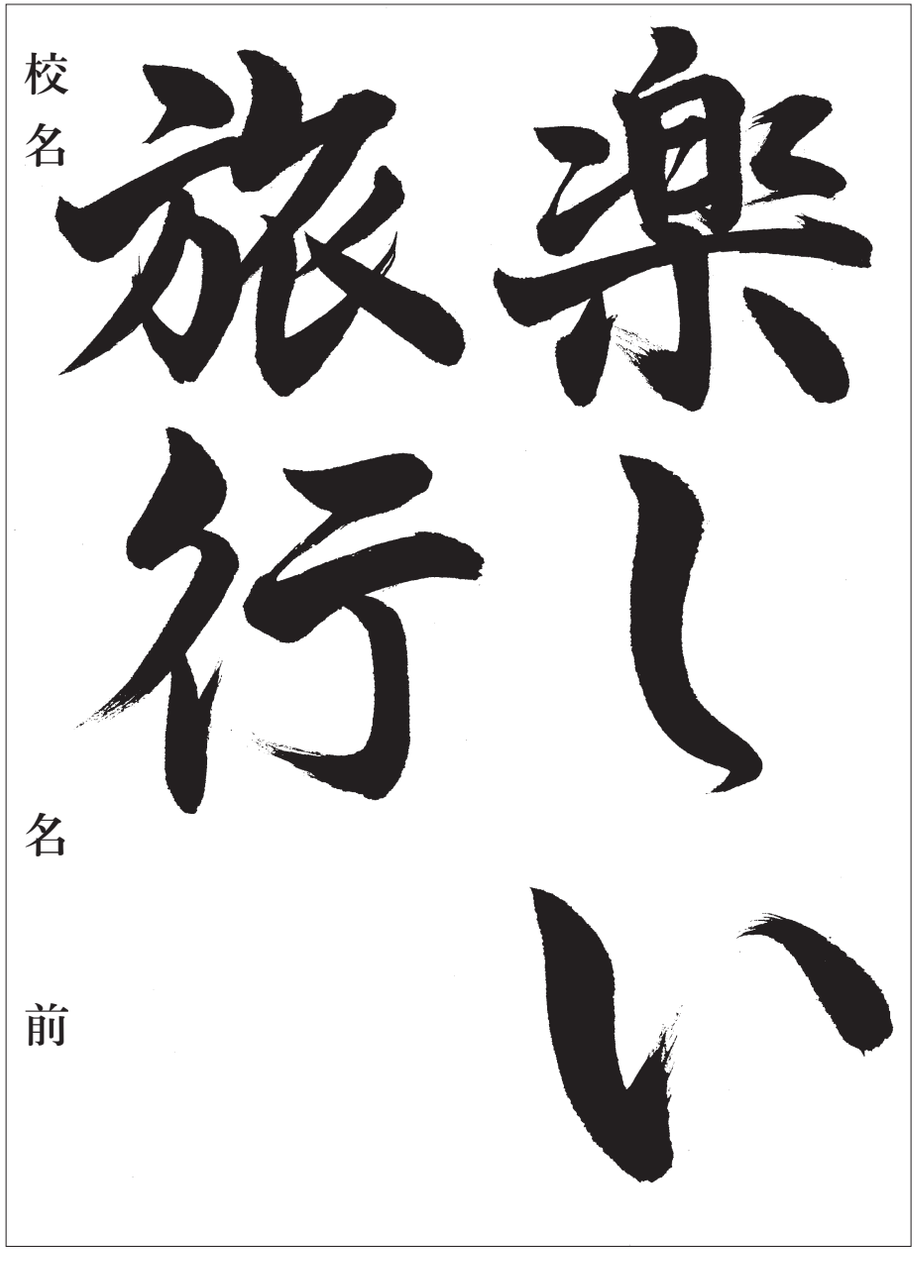
美術や工芸は五感に訴えるものだ。
そして感覚を刺激してくれる。

支部名　級　姓
号

若月久美子　先生

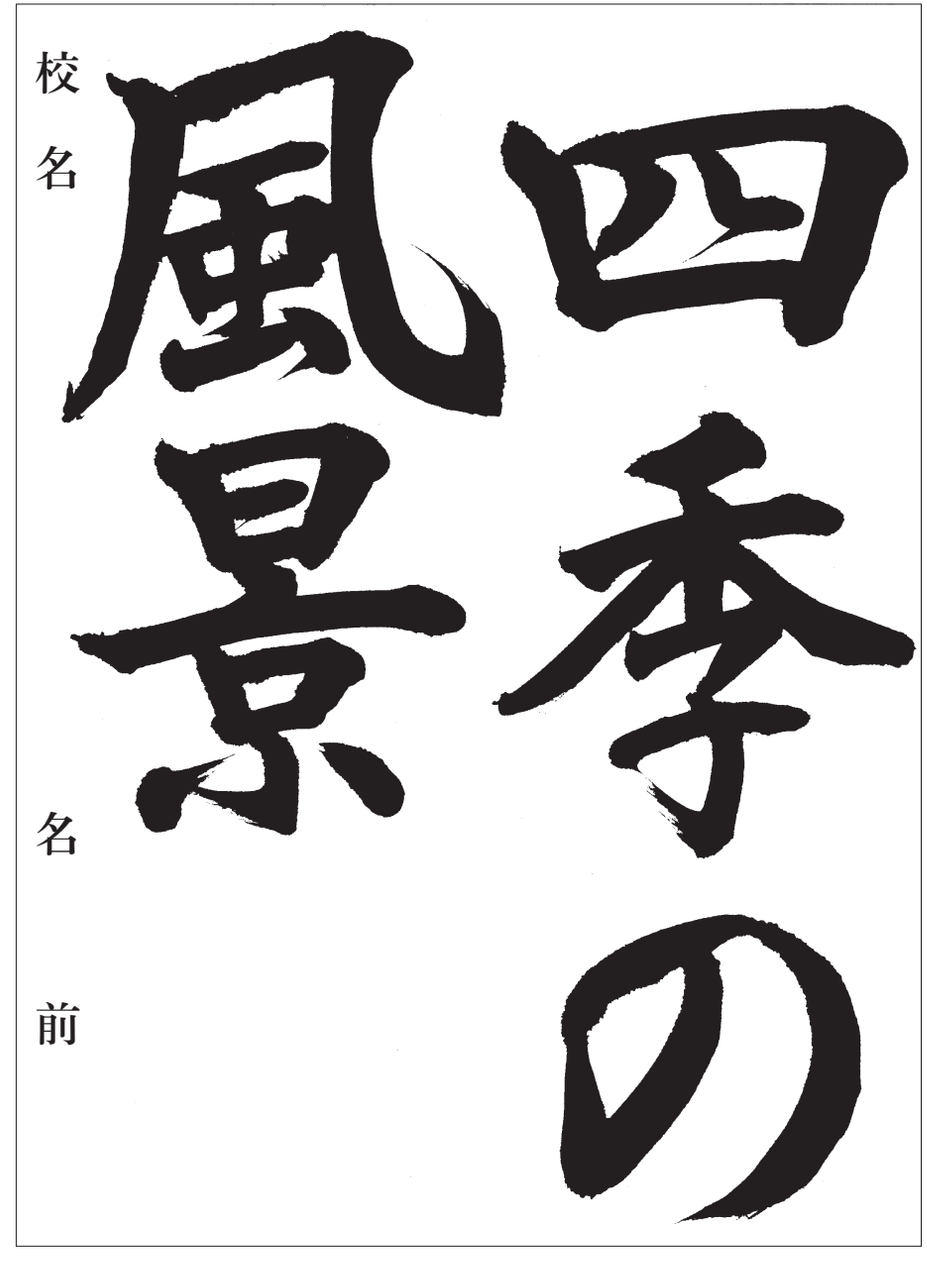
（６月10日締切）

中２用



渡邊南嶂先生

中３用

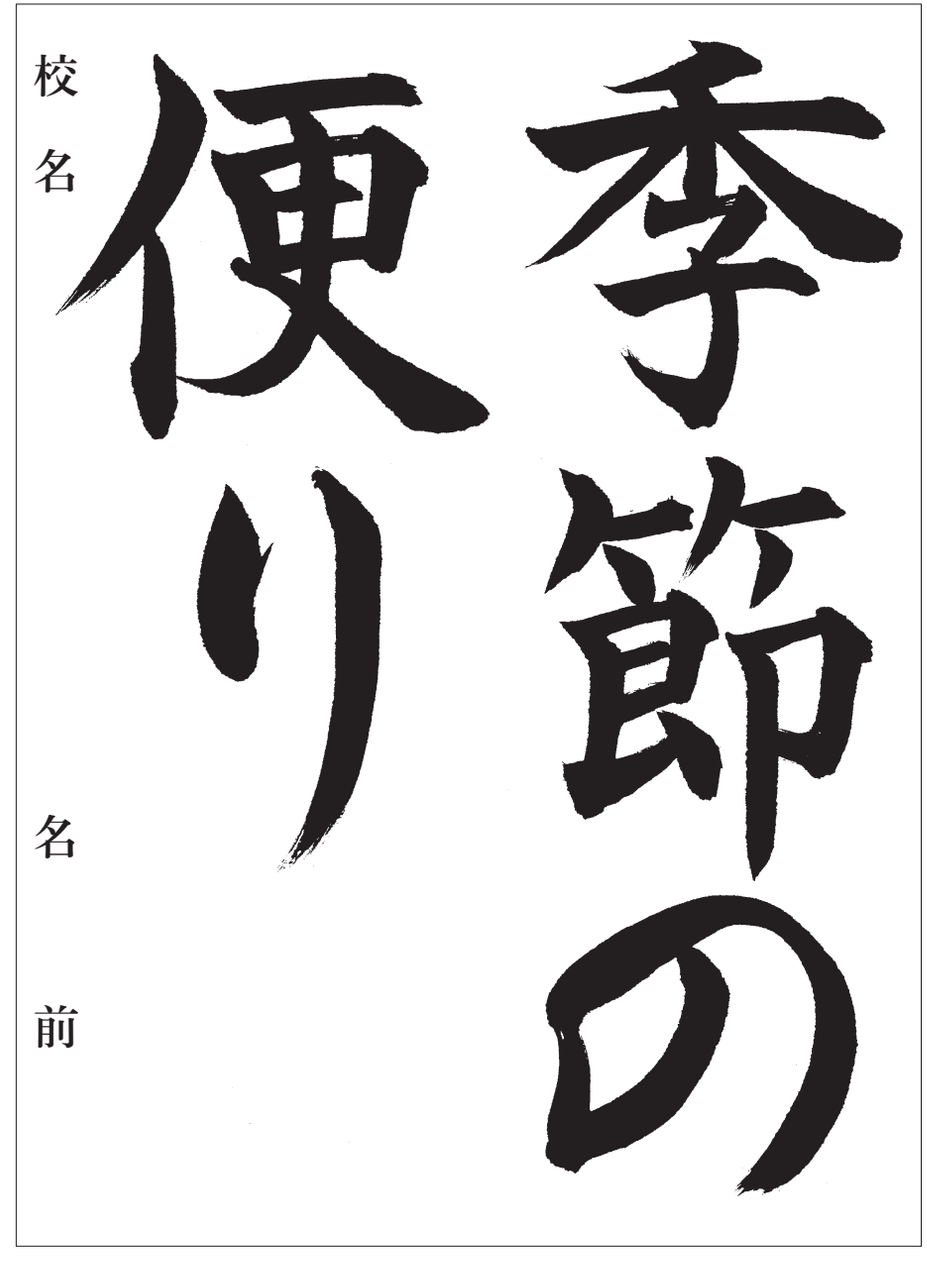


大越三宗先生

学生書道コンクール課題（６月１０日〆切）

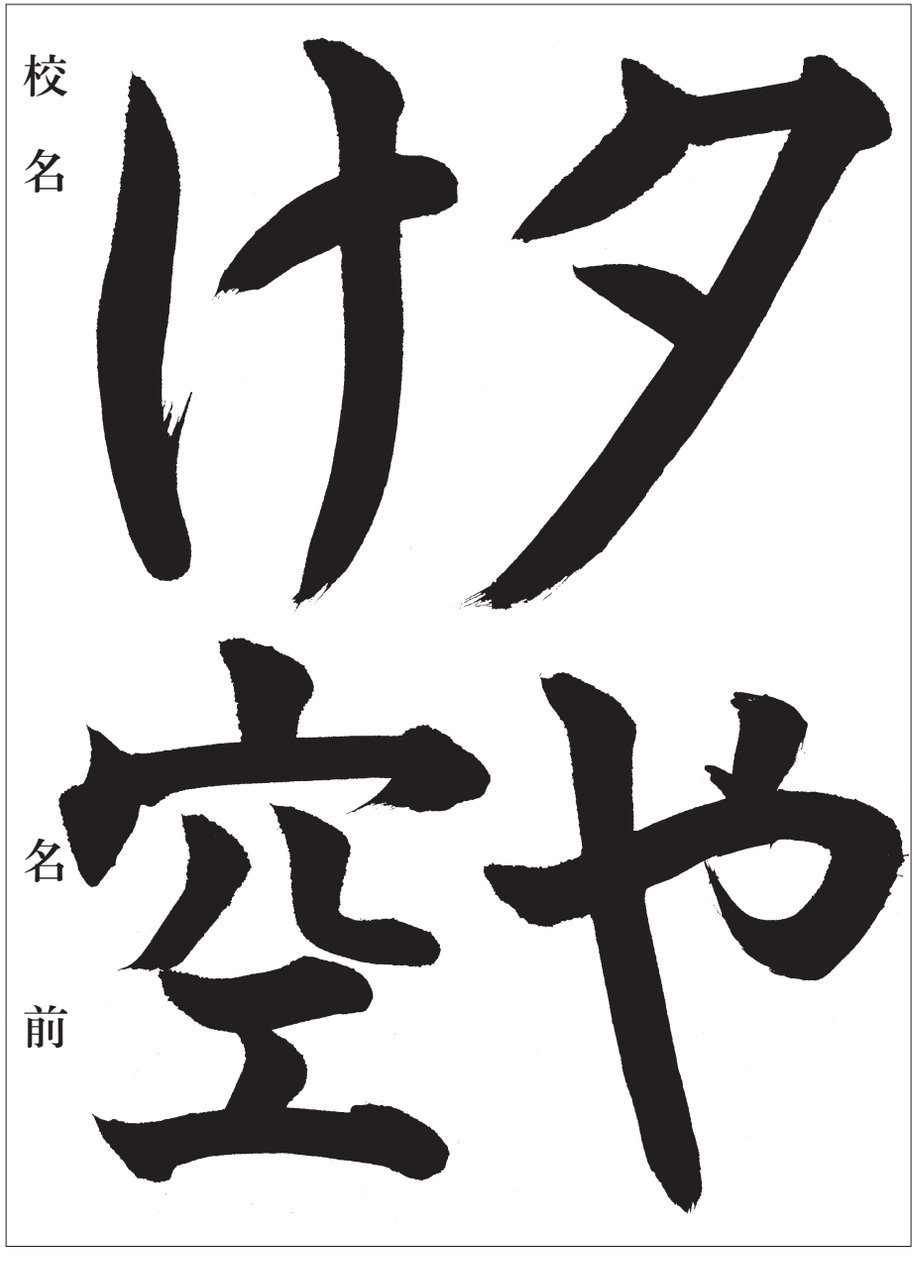
小６用

中１用

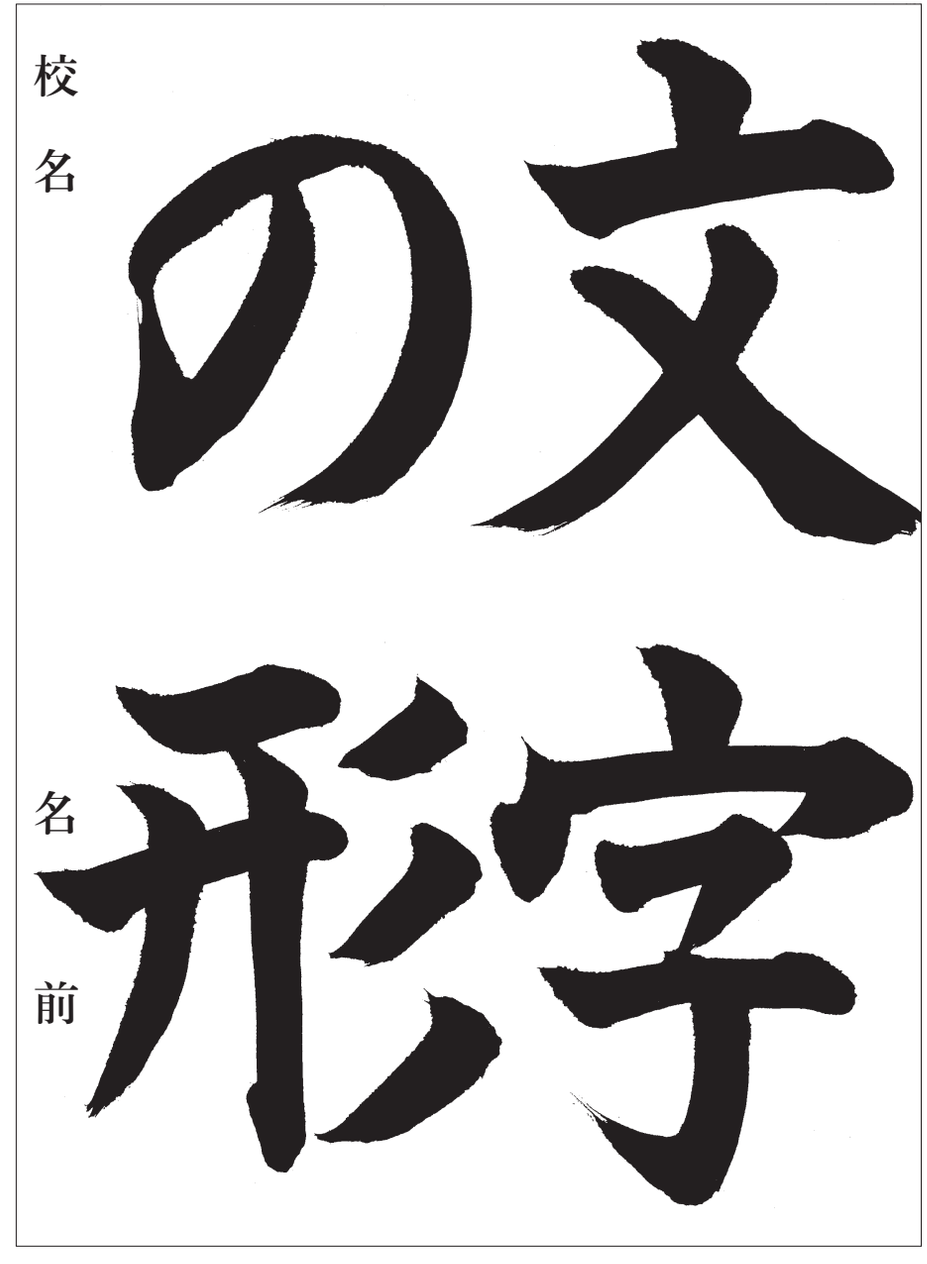


学生書道コンクール課題（６月10日〆切）

小４用



小５用



学生書道コンクール課題（６月10日〆切）

小２用

小３用

学生書道コンクール課題（６月10日〆切）

中　1

今日は木陰が恋しいほど、汗ばむ一日でした。

中　2

新緑がまぶしい、心の洗われる季節となった。

中　3

科学力で生命の不思議が、かなり解明された。

中１～中３　青　柳　江　雲　先　生

小１・幼年用

校名

名前

鈴木翡恵先生

学生書道コンクール課題（６月10日〆切）

小１・幼年

おおきく、はっきりと
へんじをしよう。

小　２

花だんのバラに、てん
とう虫がとまった。

小　３

空に、こいのぼりが元
気よくおよいでいる。

小１～小３　齊藤翡流先生

小　４

晴れた空に、白い雲が
うかんでいます。

小　５

わか葉のかがやきが美
しい季節になった。

小　６

野原一面、黄色いきれ
いな花がさいている。

小４～小６　鈴木蕙翠先生

学生書道コンクール課題（６月10日〆切）